

カイコに学ぶ

秋山 幸也

※相模原市立博物館学芸員



その7

カイコを知ろう

④ 成虫と羽化



①^{まゆ}繭の中で2週間

熟蚕となったカイコが作り始めてから丸2日で繭を完成させると、さらに2日後には蛹へと変態します。養蚕では、カイコの飼育はここまでとなります。天日（直射日光）に丸2日以上、繭をさらして、中身の蛹をからからに乾燥させます。

でも、生きものとしてのカイコにはまだこの続きがありますから、ちょっとそのようすを見てみましょう。

②繭をほぐして出てくる

繭を作り始めてからちょうど2週間くらいたったところで、蛹は成虫へと変態（羽化）します。成虫はすぐに、繭をほぐして穴をあけます。このときカイコは、口から繭をほぐす液を出します。カイコが繭をつくるためには糸は、繊維という糸の本体のまわりをセリシンというのりのようなもので包んでいます。このセリシンのおかげで繭はかっちりと硬くまとまっているため、カイコの成虫はこのセリシンを溶かす液を出しているのです。ただし、繊維は溶かしませんから、繭に穴はあいても、繊維は切れていません。成虫は繭をほぐして穴をつくり、これをひろげて出てきます。カイコは光を感じて羽化するため、繭から出てくるのは、必ず朝になります。

繭を作り始めた熟蚕



繭の中の蛹のようす





繭から出てきたカイコの成虫



③ 飲まず食わずの成虫

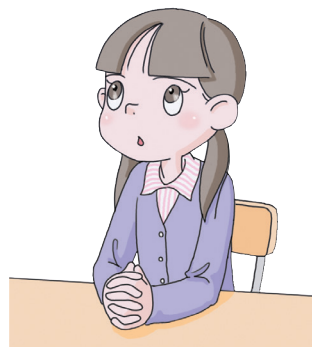
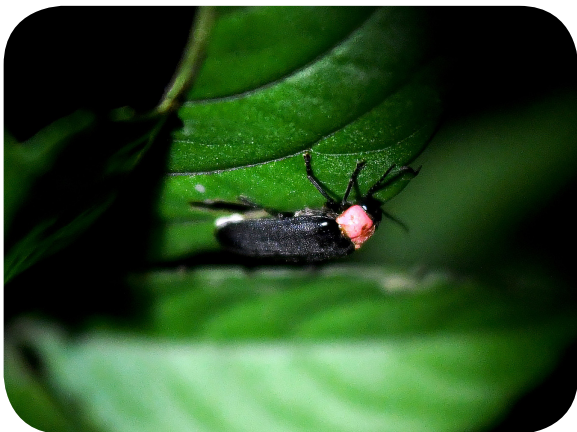
カイコの成虫は、繭をほぐすための液を出す口はありますが、食べるための口はありません。そのため、成虫は何も食べず、飲まず、交尾と産卵をしたあとは衰弱して死んでしまうのです。

このように、成虫が口を持たず、食べないという特徴は、カイコのほかにも多くの野生の蛾にも見られます。また、私たちになじみの深い昆虫の一つであるゲンジボタルも、成虫は食べずに繁殖行動だけして死んでしまいます。



カイコの成虫には食べるための口がない

ゲンジボタル



成虫は、何も食べられないの？わたしなら、お腹がへって、がまんができないよ。

→その8

カイコを知ろう

⑤ 交尾と産卵